

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校改善

取組 (4) 教員の資質・能力の向上

コアチームによるGIGA研修の実施

コアチームを組織し、教員のICT活用指導力の向上に向けた取組を次のとおり推進した。

■令和3年度：4回実施

- ・ 1人1台端末を用いたGoogle form等のアプリ活用
 - ・ 1人1台端末の日常授業への位置付けに係る提案及び実技 等
- ⇒ 日常授業及び臨時休業時のオンライン授業の充実に向けた資質・能力の向上を図った。

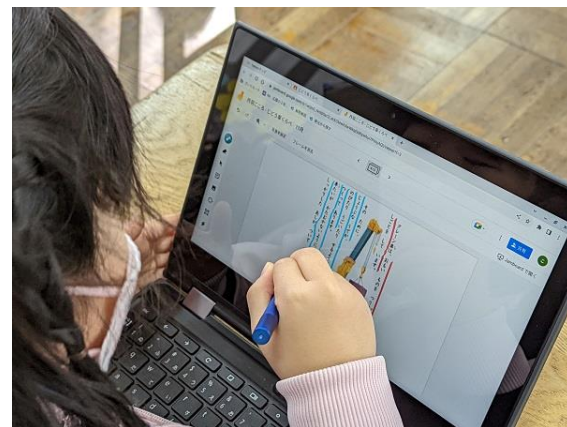
■令和4年度：2回実施（12月末時点）

- ・ コアチームによる模擬授業の実施
 - ・ 教材を共有化する仕組みづくり 等
- ⇒ 実践的事例の共有と蓄積、全教員の資質・能力の向上を図った。

成果

朝学習におけるタイピング練習や課題のオンライン配信、欠席者もオンラインで参加できる授業が日常化するなど、教員のICT活用指導力が向上した。

（教員評価平均：5段階中4.0 昨年度より0.2向上）



【低学年児童が端末を活用する様子】

質の高い教育活動を持続的に行う働き方改革の実施

取組

(3) 業務の効率化に向けた取組の充実

ICTを日常的に活用した業務の効率化

ICTを活用した効率的な会議や研修等の推進

■令和3年度：ICTによる業務の効率化の改善を開始

- ・ zoomを活用した研修参加、授業参観・保護者からのformによる欠席連絡
 - ・ 児童による健康観察記録の入力
 - ・ 保護者によるformを活用した学校評価
- …ICTを活用できる業務を教職員だけでなく家庭も巻き込んで実施した。

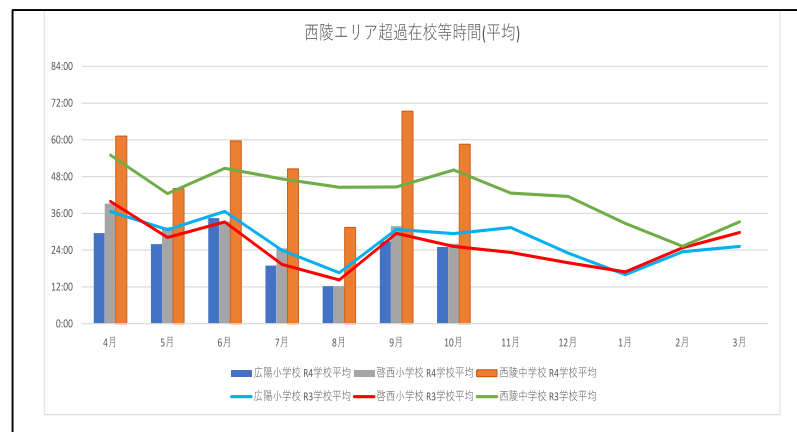
■令和4年度：業務改善の定着が進み成果を視覚的に実感

- ・ ICTを活用した在校時間の視覚化及び1日当たりの超過勤務の視覚化
- …働き方改革が進み、教職員が成果を実感するとともに教育活動の質が向上した。

成果

開始時は変更に伴う負担が増えたと感じる教員もいたが、2年目は定着が進み、効果を実感する教職員が多い。

ICT活用により働き方改革への意識が進み、在校時間が前年度より16%減少するとともに、1か月残業45時間以内が93.1%である。



【在校時間を視覚化したグラフ】